

売

二年 画数 7
筆順 ナ 士 売
クン オン バイ
う いる ける

成り立ち



もとの字は「賣」で、「出」と「買」とをくみあわせてつくった字です。

「買ってもらうものを出す」もしくは「買い手にさし出す」といういみの字で、「うる」ことをあらわしたものです。

〔昔は、売ることも買うことも同じ行為であるから、これを区別せずに「バイ」と言ったのである。後に、文字を作るにあたって、売ると買うとを区別したが、言葉までは区別しなかった。また、「売る」も「買う」も、金銭を意味する「貝」という言葉をそのまま使ったのである。〕

使い方

▽あのみせでは中古車の売買をおこなっています。
▽新発売の○○テレビは、とても画像が鮮明で、すばらしい。

▽ケーキを売っているおみせのまえを、とおりがかりました。おいしそうなケーキで、たべたくありません。
▽小さいころ、おみせやさんごっこをしたことがありました。ぼくは、やおやさんになって、だいを売りました。いもうとは、パンやさんになって、クリームパンを売りました。一男くんは、にくやさんになってひきにくを売りました。

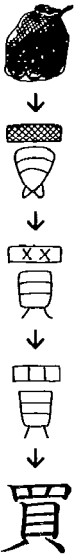
熟語例

- ▽売買(売り買い。売ること、買うこと。)
- ▽発売(売り出すこと。)
- ▽専売(そだけで売っていること。とくに国が、ほかの人に売ることをゆるさないで、ひとり専ら売っていることをいいます。)
- ▽特売(特別にやすく売ること。『きょうは、牛肉の特売をしているよ』などといっています。)

買

二年 画数 12
筆順 一 四 買 買
クン オン バイ
か ほう

成り立ち



「あみ」のかたちをあらわした「あみ」と、「貴重」や「財貨」のいみの「貝」とをくみあわせたもので、「あみで、さかなやとりをとるように、貴重な財貨をごっそりととりこむ」ことをあらわした字です。

「ものを「かう」こと」をあらわした字です。

〔この字の音は「貝」が表しているが、これは「貝」という語が金銭を意味していて、「お金を使う」という意味にも使われていたことを思わせる。つまり、「買」という字が作られる前には、「貝」が「買」という意味にも使われていた、と思われるのである。〕

使い方

- ▽しなものを売買するときには、よくちゅういして、わるいしなものをあつかわないようにすることが、たいせつです。
- ▽ぼくは、おこづかいをためて、『ダルトニアンものがたり』という本を買いました。ダルトニアンという男の子がかつやくする、とてもおもしろいものがたりです。まえから、買いたいとおもっていたので、買ってかえってから、むちゅうでよみました。
- ▽おかあさんが、「くだものを買ってきてちょうだい」というので、かどのやおやさんで、りんごを買ってききました。

熟語例

- ▽売買(売り買い。売ったり買ったりすること。)
- ▽購買(買い入れること。「買う」ことを、すこしあらためていうことばです。「購買力がある」などというふうに、つかいます。これは、「買うことができる」というほどのいみです。)
- ▽買価(買うときのねだん。これも、やはりあらたまった言い方です。)